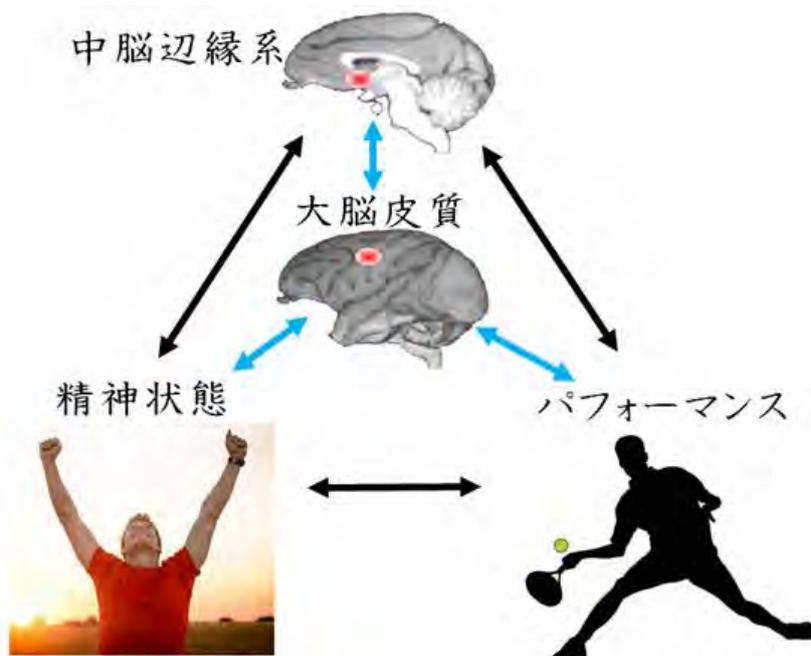


# 心が身体を動かす仕組み

西村 幸男（京都大学大学院医学研究科）

多くの人が意欲の高い時に競技スポーツなどの運動パフォーマンスで良い結果を残すことができた経験があるのではないだろうか。また、リハビリテーションの現場においても運動機能回復を促す上で患者の意欲を引き出すことが重要であることを示唆されてはいるが、意欲などの情動的要素が運動機能、さらに運動麻痺の回復に寄与する神経メカニズムや因果関係は未だ不明な点が多い。これまで意欲を制御するといわれている側坐核と腹側被蓋野からなる中脳辺縁系は、四肢の運動機能に直接の関係はないと思われてきた。我々は、このような心と身体の因果律を解明することを目指し、意欲に関与している中脳辺縁系の身体運動制御機構について研究している。本講演では、意欲に関わる中脳辺縁系が大脳皮質運動野の活動を生成し、要求度の高い精密な手の運動を制御していることの因果関係を示す。



京都大学 大学院医学研究科 神経生物学 准教授 医学博士  
1995年 日本大学文理学部体育学科卒、2003年 千葉大学大学院医学研究科修了（医学博士）。生理学研究所、ワシントン大学、科学技術振興機構、生理学研究所を経て、2016年より現職。  
専門は神経生理学。現在は、脳とコンピューターを繋ぐ人工神経接続による機能再建、心による身体運動制御機構などに関心を持っている。